



みなと祭 御座船「鳳凰丸」

鹽竈十角

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一號

志波彦神社
電話 ○111(三六七)一六一一(代)
FAX ○111(三六五)五五三〇

<http://www.shiogamajinja.jp/>



六月に入り吉日の土日などは、五件六件と結婚式が続くようになつた。鹽竈様へ進む新郎新婦は、奉仕員のさしかける朱塗りの大傘の蔭となるも、花嫁の輝きは隠しようもない。続く親族の姿も又晴れやかだ。参拝者も自らの晴れの日を思い返し、又は憧れのその日を想い描きながら拍手で両家を祝つてゐる。初宮詣で幼子を抱いた家族、夫や両親とともに安産祈願に來ていた妊婦の方など、居合わせた人々皆が笑顔となる境内の様子が戻つてきいていた。すべては地域の安全と各自の健康あつてこそもの。コロナ禍にあつて感染不安の中の二年半余を経て、人々の健康を感謝する気持ちや家族の健やかなることを願う祈りは一層切なるものとなつてゐる。更に言えば、ウクライナ国民の悲しみを想い、国安かれと祈る言葉も耳に届く。

文ちゃんと我名今朝より言ひ初めて
その文ちゃんの愛らしさかな

我が子の成長を詠んだ母の歌である。しかし、その日から二十一年後、国を守らんとする我が子を母は見送ることとなる。

子守唄添ひ寝の昔なつかしく
今宵限りと並び寝まほし

自分の名前を初めて口にした幼子の愛らしさを幾度も幾度も思い返しだらう母の心を思うと涙が出る。家族親族が皆健やかであるように、日本の平和が守られますよううにと願い誓う。こうした祈りが日々積み重ねられ、穏やかで笑顔に満ちた人々が集う神前であり続けてもらいたい。

鹽竈神社例祭 七月十日

来る七月十日(日)、鹽竈神社例祭を斎行いたします。

古くは陸奥国司が神事を主伊達家が大神主として祭祀を司りました。

当方は午前十時より斎行され、祭典中に特殊神事「御出幣式」が執り行われます。

御出幣式は、別宮・左宮・右宮各御本殿内に奉安されている御神幣を所役三名が奉戴し楼門前まで進み、まず南面して左右左の順に振



御出幣式



流鏑馬神事

て、コロナ禍により中止されていました。流鏑馬神事を三年振りに斎行いたします。別宮・左宮・右宮と三頭の馬を立てて、各三番の騎射が行われます。

また奉祝行事として、当 日午後二時より馬場において、「藻塩焼神事」が斎行されます。

「藻刈神事」七月四日(月)
松島湾花渕浜沖に神事船を出し、ホンダワラと呼ばれる海藻を採取する神事です。

「水替神事」七月五日(火)
松島湾花渕浜より満潮時の海水を汲み、古い神金の水を海に返して入れ替える神事です。午前十時に御金神社において奉告祭、午後二時に出船し神事を斎行します。

「藻塩焼神事」七月六日(水)
海水を煮詰めて塩をつくる神事です。古代の製塩方法の一端を伝える貴重な神事として、昭和五十四年に宮城県無形民俗文化財に指定されました。

藻塩焼神事

七月四日・五日・六日

宮城県無形民俗文化財

神事で調製された塩は、御金神社例祭、十日の鹽竈神社例祭で御神前に御供えされるほか、御金神社例祭参列者にお掛けします。

曲木神社例祭

八月一日



塩釜みなど祭
七月十八日 海の日
みなと祭が三年振りに斎行されます。

志波彦神社・鹽竈神社御両社の大神輿が御座船「龍鳳丸」「鳳凰丸」に奉安され松島湾を舞台に海上を渡御します。



花まつり斎行
四月二十四日、花まつりが斎行され、御神輿が三年振りに市内を巡行されました。各御旅所では氏子の皆様に温かく迎えられ、市内は賑わいました。

わが背子を都に遣りて 塩竈の枕の名所として多くの和歌に詠まれてきました。
毎月一日の月次祭、例祭前日の前夜祭、例祭日に渡ることができます。

八月一日(木)市内新浜町離島に鎮座する末社・曲木神社の例祭が斎行されます。

八月一日(木)市内新浜町離島に鎮座する末社・曲木神社の例祭が斎行されます。

氏子崇敬会

春季大祭斎行

ご結婚
おめでとう
ございます

△十年 南町一	△二十年 願成寺	△二十年 藤倉中央 東玉川町内会	△三十年 貞山通 中の中島 中の島 貞山通	△四十年 貞山通 港三四	△三十年 飛田昇 株マルハラ	相澤 佐藤 鈴木 信弘	△四十年 徳雄 徳雄	△四十年 （敬称略） 令和四年度継続表彰者	季大祭が斎行されました。 会長以下専任理事が参列 し、祭典後、任期満了によ り新役員に委嘱状が交付さ れ、また永年継続会員表彰 が行われました。	

伊具郡 北海道	石巻市 石巻市	黒川郡 仙台市	黒川郡 仙台市	仙台市 仙台市	岩手県 仙台市	福島県 仙台市	仙台市 仙台市	遠田郡 石巻市	富谷市 仙台市	三月

横山 加藤	佐藤 菅野	前本奈々子 長瀬達哉	菅野渡邊	三浦友梨香	前川健哉	渡邊英樹	小田島留歩	藤原高橋	豊田境	江本滋
千春 晃平	咲希真範	眞希	尚美	裕也				萌由貴	由貴也	美里

宮城郡 宮城郡	名取市 名取市	岩手県 宮城郡	宮城郡 角田市	東松島市 遠田郡	塩竈市 仙台市	名取市 仙台市	群馬県 山形県	愛知県 塩竈市	千葉県 岩手県	登米市 石巻市

船山 美希	渡邊蛍名 仁菜裕次	菅原相澤 絵美喜光	小野正幸 嘉子	片倉佐藤 玉ノ井明子	佐藤強 佐々木真実	鈴木佐藤 将明	今野直紀 志紀	酒井上野 貴子	菅原健太 優香	榎本康平 日野俊太
----------	--------------	--------------	------------	---------------	--------------	------------	------------	------------	------------	--------------

遠田郡 仙台市	栗原市 埼玉県	仙台市 山形県	仙台市 仙台市	仙台市 青森県	岩手県 仙台市	仙台市 仙台市	仙台市 福島県	仙台市 東京都	宮城郡 福島県	山形県 仙台市

阿部 サヤ	金宇潮 曾根和歌子	外山晶得 華子	泉梅津俊介	大立目葉翔平	菅原佐藤 大地	滝沢佐伯 大地	半澤小野寺 有紀	壺井半澤 健太	山田壺井 俊一	井上沢崎 貴史友香
----------	--------------	------------	-------	--------	------------	------------	-------------	------------	------------	--------------

遠田郡 大崎市	大崎市 仙台市	仙台市 多賀城市	仙台市 宮城郡	石巻市 岩手県	岩手県 仙台市	茨城県 仙台市	福島県 仙台市	塩竈市 仙台市	黒川郡 福島県	富谷市 栗原市

阿部 (敬称略)	篠澤健人 未来	早坂貴弘 佐々木奈央	阿部怜弥 瑞生	鈴木志穂 靖	千葉藤原 理沙	白土俊介 靖文	久野靖仁 洋平	千葉高比座 美幸	佐藤茜 翼	荒深沼 智子景信
-------------	------------	---------------	------------	-----------	------------	------------	------------	-------------	----------	-------------

大海安上産祈願 漁満安祈願

九月	一日	八月	十八日	七月	四日	一日	毎月
二十九日	志波彦神社遷座記念祭 並びに氏子崇敬会秋季大祭	曲木神社例祭	みなと祭	藻水	替神	朔日	祭事暦 (七月から)
		牛石藤鞭神社例祭	流鏑馬神事	藻水	刈神	御金神社例祭	御田植祭が斎行されました。
		鹽竈神社例祭	みなと祭	藻水	刈神	御金神社月次祭	巫女と養成所生徒により御田植がおこなわれました。
				藻水	刈神	鹽竈神社月次祭	御田植がおこなわれました。
				藻水	刈神	志波彦神社月次祭	志波彦神社月次祭

五家内穀家安豊穰全泰

諸肌にされてかくやく土辣韭
薰風や魁夷の白馬走り出す
葉桜や園児らの声彈け来る
毛虫ケムシ花どろぼうの報いなり
撫で牛に塩竈桜散りにけり
朝採りの束解きにけり初蕨
累代の色の褪せたる鯉幟
がき大将二列に並ぶ葱坊主
漁港にも銀座の香り鱈東風
夕映えの水のおしゃべり葱坊主

文芸欄

大野	みよ子
今田	須美子
大友	セツノ
上田	由美子
鈴木	ゆう子
佐藤	悦子
菅原	和子
斎藤	
今野	
紀美子	
源作	

参拝記録

五月	二十九日	東京都・布多天神社	野澤康次郎宮司	他一名
三月	十二日	奈良県・薬師寺執事長	大谷徹裝氏	他九名

これから四ヶ月、農耕と
殖産の守護神・志波彦大神
が見守る中、秋の収穫を待
ちます。

五月七日、御神田において
御田植祭が斎行されました。
巫女と養成所生徒により
御田植がおこなわれました。

御田植祭斎行



六月三十日、祓所において、夏越大祓式が斎行され、参列者は半年間の穢れを祓うとともに、コロナ禍の収束を願い茅の輪をくぐりました。



夏越大祓式

五月十二・十三・二十五・二十七日の四日間にわたり、巫女の神楽舞の温習が行われました。藤波祥子先生（亘理郡・八重垣神社宮司）の御指導のもと、当社独自の一森の舞・海人の舞や、浦安の舞、悠久の舞の稽古に、新任の四名を含めた巫女たちは熱心に取組みました。



巫女神楽舞温習

みなと祭が開催されます。三年振りの海上絵巻を是非ご覧下さい。

おひな祭

慶